

問一、	1	辞(める)	2	密集	3	収(まる)	4	結構	5	額	6	乱暴	7	頂	
8	不潔	9	義理	10	警備	11	実権	12	巻(いた)	13	健在	14	氷点下	15	誤り

問二、A イ B ア

問三、むーさんの自転車はまったくゆれない

問四、正雄は中野を殺したいという思いで正常な判断力を失っていたが、むーさんと話して、落ち着きを取り戻した。

問五、オ

問六、エ

問七、イ

問八、人殺しの道具ではなく、心のよりどころになるような (ものになった。)

問九、ア

問十、正雄は「松乃屋」が無くなり、両親が離婚したとき、父も母も選ばず、むーさんのもとで暮らすことを自ら選んだことを支えてくれたむーさんに声をかけられたことで気付いたから。 (82字)

問十一、舟

問十二、一茶の句は、寒い夜に孤独で眠れず悩んでいる自分を、もう一人の自分が見守っているという意味合いがある。この日の正雄は将来のことに悩んでいたが、そんな自分を冷静に見つめる視点も失わず、自分の将来について一人で真剣に考えていたからである。 (116字)

問十三、オ